

オーストラリア

クイーンズランド大学
留学に関する報告

高知大学
人文学部
国際社会コミュニケーション学科

滞在期間 2013年7月～2013年11月

○滞在期間

2013年7月～2013年11月

○滞在场所

クイーンズランド大学（オーストラリア）

○感想

私は、2013年2月にオーストラリアのブリズベンに向けて発ちました。前半の半年間は、語学学校でIELTSという英語能力を証明する試験の勉強に励み、後半の半年間は高知大学と提携している、クイーンズランド大学で勉強をしました。勉強ばかりの1年間でしたが、自分の英語力の向上はもちろんのこと、世界的視野を身につけることができたことは大きな収穫です。



語学学校では、IELTSの勉強がメインでしたが、それ以外にも、週1回の大学の先生によるレクチャー、ディスカッションやプレゼンテーションなどがありました。私が通った語学学校では、教室



内で母語を使うことが固く禁じられていたため、日本人同士でも英語では話さなければなりません。そのため、私の英語力はたった半年でも大きく成長したと思います。

大学では、4つのコースを履修しました。英語圏の多くの大学は、レクチャーだけでなく、チュートリアルと呼ばれるものが存在します。チュートリアルでは、レクチャーで学んだことをもとに、複数のトピックを抽出し、それらについての学びを深めていきます。また、プレゼンテーションやディスカッションなど学生主体の学習を行います。クイーンズランド大学にはたくさんのクラブやサークルなどがありました。私も日本語サークルに参加して現地の学生に日本語を教えていました。クイーンズランド大学での学びは、私の人生の中での大きな財産です。

私は、留学をするメリットは大きく分けて2つあると考えます。1つ目は、慣れない環境で、もがき苦しみながらも、自分自身を成長させてくれる貴重な材料になることです。知らない土地に行くと、言語、風習、文化、価値観などの様々な”違い”に遭遇します。大学生になると、多くの人々が一人暮らしや寮生活を体験すると思います。それも”違い”を経験す

る1つですが、やはり国を離れるとなるとスケールが違います。海を越えた先にある土地には、日本とは、大きく異なったものがたくさんあります。それらを自分の中に吸収することで、より豊かで寛容な心を養うことができます。もう1つのメリットは、日本という国、また日本人を客観的に見ることができることです。日本には素晴らしい伝統や文化がたくさんあります。それらを創り、守ってきた日本人の国民性は世界に誇れるものです。このことを知ることは、日本人として生きる上でとても重要だと思います。自分が日本人としてどうあるべきか、何を誇りにして生きていくか、そのヒントが留学には隠されています。

最後に、留学というものは、無限の可能性を秘めています。ですので、一人ひとりその経験による捉え方、感じ方は違うと思います。大事なことは”違い”を経験すること。そしてそこから何かを学ぶこと。より多くの学生がまだ見たことのない空へ飛び立ってくれることを期待しています。